

活動
報告

鳥取バス輪行ツーリズム



▲中屋クマさん運営の観光果樹園

CMA設立からほぼ1年の6月26・27日「バス活用の輪行ツアー」を実施しました。自転車スキルの異なるメンバーでも「バス・自転車の走行ミックス」により全員がサイクリング旅行を楽しめる企画で、今回は上中級・Aチームと初級・Bチームの2チーム編成で、21～77歳までの多彩な年齢層から構成される22名の参加をみました。

1日目は戸倉峠近くまでバス移動、そこからAは自転車走行し、バス移動したBと「はっとう観光フルーツ園」で合流、そ

の後全員で鳥取砂丘まで自転車走行。フルーツ園はリーダーの1人中屋クマさん運営の観光果樹園で、鳥取地場産業の現場を垣間見ることができました。あいにくの雨でしたが戸倉峠からの豪快なダウンヒル(標高差731m)、若桜のまちめぐり、フルーツ園見学、鳥取砂丘での温泉入浴と盛りだくさんメニューでした。(1日目自転車走行距離 A:約65km B:約45km)

鳥取砂丘近くで宿泊した「民宿・橋本屋」さんでは、橋本さんご夫妻の心のこもったおもてなしをいただき有難うございました。

2日目は白兔海岸経由で日本海を全貌できる魚見台まで自転車走行、その後Aは自転車・Bはバス移動により倉吉経由で最終地・関金温泉へ。魚見台への上りはBチームにはこたえたみたいでしたが、走破後の温泉・ビールのうまさ

を増進させた最大の要因でもありました。自転車走行は実質丸1日だったのですが、多彩なツアーが楽しめ「少しのあえぎが楽しみ倍増」という自転車原点とふれあい、素敵なたちとも一緒できた充実の2日間でした。(2日目自転車走行距離 A:約75km B:約40km) 今から思えば「CMA設立1周年記念行事」にしても良かった位の充実した2日間を無事終えることが出来ました。参加者・リーダー各位のご協力の賜物と思っています。本当にお疲れ様でした、有難うございます。

CMA自転車市民STでは、年2回程度このような企画を実施していこうとしていますので、次回もご参加期待しております。(次回予定:10月・尾道・しまなみ海道方面)

CMA自転車市民ステーション 井上 守



▼民宿・橋本屋



先月、早稲田大学のまちづくりシンポジウムで報告する機会がありました。ある種単線的な計画プロセスの限界が問われる中で、その先にあるまちづくりの姿と地域空間像について議論するものでした。そこで私が、このテーマにぴったりの実践として思いついたのが今回連載する箕面市北芝のまちづくりでした。

早いもので、このまちに関わらせていただいて10年を超えました。このまちの特徴は、いろ

んな課題を抱えながらも、楽しみながら「失敗」を乗り越える試行錯誤のプロセスを大切にしまちづくりにあるといえます。具体的には、地域の交流広場である「芝楽」という拠点を活用しながら、ひとや出来事をつむぐ活動を積み重ねています。多くの世代がチャレンジショップの運営を楽しみ、地域通貨を活用した安心居住を目指す見守りシステムやコミュニティ農園まで多くのチャレンジが実践に繋がってきました。とくに本年度からはコミュニティセンターの指定管理を受けて「まちづくり」が自立しはじめました。

今、このまちはコレクティブタウンの様相を示しつつあります。これは、まちに関わる人々が、ゆるやかな共同生活のような人間関係や空間の中でまちを感じ、ささえながら成長していくまちであり、多様な協同の居場所（機会）が確保された、地域が住まいの続きのような機能を果たす協同居住のまちのことを示

しています。

本連載では、コミュニティマネジメントを実践するまちとして注目し、このチャレンジのプロセスを紹介したいと思います。



CMA副会長 寺川 政司

CMAセミナー2010 第1回

あなたも北芝にふれてみませんか？
芝楽朝市(夕市):
8月21日(土) 17:30~20:30頃

上記連載で紹介した北芝地区のまちづくりでは、コレクティブタウンの象徴的存在でもある「芝楽」という場所が愉快です。

百聞は一見にしかず。CMAでは地区見学会を開催します。とはいっても今回は堅苦しい見学会ではなく、下記催しへの参加者を募る形で実行したいと思いますので、ご興味のある方は、8月16日までにCMA事務局にお知らせください。(資料代:500円)

■芝楽朝市(HP案内より)

夏は夕市ですよ〜ジメとした日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。

カラフルな夏野菜に、いつもの屋台も少し夜仕様で。ビールもあれば、その日採れた野菜のお惣菜なんかもあります。

長い梅雨の終わりの合図に、乾杯しましょう!

CMA副会長 寺川 政司

自転車市民ステーションコーナー

「自転車市民倶楽部」の設立で活動に弾みを!

鳥取の後、7月25日淀川河川敷公園で、守口市視覚障害者福祉協議会主催によるタンデム試乗教室が開催され、当部会からもサポート参加



▲タンデム試乗教室

しました。夏休みには4月に続き子供向けの「日の出自転車メンテ教室」を予定。秋は予定が目白押しで、10月1~3日リバリバ大阪(水都大阪2010)でクルーズ&ポタリング。同10日第2回船場まつりにまめめぐりツアーの企画と運営。さらに同17日、大阪中央区区民祭りで、大人向けの自転車メンテ教室の開催を予定。またCMAバス輪行ツーリズム第二弾は、10月末~11月「尾道しまなみ海道」ツアーを「海フェスタ尾道2011」のプレツアーとして実施します。

今後、当部会の推進力を高めるためにも、新サポート会員クラブ「自転車市民倶楽部」を立ち上げ広く会員を募集。ぜひとも参加呼びかけをお願い致します。

CMA自転車市民ステーション
マネージャー 小山 勝己

会員からのメッセージ

ベストセラー小説『1Q84』の著者村上春樹氏によれば、「これは完全に題から始まった小説です」(略)そして「青豆という名前を思いついたときに、あ、これはいけるな、と思った。次に天吾という名前を思いついて、この小説はきっとおもしろいものになるとわかりました」(※)とある。

われらがCMAもスタートはまさにネーミングから。活動領域は集まったメンバーの関心事と仕事のフィールドをそのまま反映しています。2010年には、どんな新顔がメンバーとして参画登場することでしょう。様々な意味で新メンバーへの期待大なるものがあります。

※『考える人』季刊誌

2010年夏号(新潮社)

村上春樹ロングインタビュー



CMA会長 森 日出男

西 淡 路

2

丁 目

ニューズレター第1号、ようやく創刊です。編集内容は、毎月のHOTなニュースと主な活動報告、連載記事(箕面市コレクティブタウン北芝の挑戦)。コラムは、CMAセミナー2010、自転車市民ステーションコーナー、会員からのメッセージと盛りだくさん。▶会員みなさまのご意見をいただき、より充実した紙面を目指します。(アピ)

発行 一般社団法人 コミュニティマネジメント協会

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路1丁目3-26

弥生新大阪第一ビル401 CASEまちづくり研究所内

電話:06-4862-7844 FAX:06-4862-7866

http://www.cma-web.net